



(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 2023年度 学術講演会のご案内



■大会長

日本歯科先端技術研究所
副会長／近畿・北陸地区会長

森本 恭司



■学術委員長

日本歯科先端技術研究所
常任理事

下野 純司



■実行委員長

日本歯科先端技術研究所
近畿・北陸地区会員

太田 輝(大阪)

令和のカロロジー&ペリオドントロジー



■特別講師 天野 敦雄 教授 大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学講座

略歴

1984年 大阪大学歯学部 卒業
1992年 ニューヨーク州立大学歯学部 博士研究員
1997年 大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師
2000年 大阪大学大学院歯学研究科 教授
2015年 大阪大学大学院歯学研究科長・歯学部長 (2019年3月迄)
2021年 日本口腔衛生学会 理事長 (2023年5月迄)
2023年 日本口腔衛生学会 副理事長

主な著書

・天野敦雄、久保庭雅恵(2023)「歯科衛生士のためのカロロジーダイジェスト」クインテッセンス出版
・天野敦雄(2021)「長生きしたい人は歯周病を治さない」文春新書
・天野敦雄(2020)「歯科衛生士のための21世紀のペリオドントロジーダイジェスト【増補改訂版】」クインテッセンス出版
・天野敦雄(2019)「天野ドクターの歯周病絵本 バイオフィルム公園物語」クインテッセンス出版

むし歯菌も歯周病菌も口腔常在菌です。常在菌は追い出せません。しかし、この2つの疾患の予防と治療は可能です。病因を除去すればいいのです。令和の最新病因論をお話します。

- ①う蝕と歯周病の原因：う蝕や歯周病の原因はdysbiosisです。dysbiosisとは、周囲環境（栄養、温度、pH、嫌気度）の変化によって悪玉菌が増加し、バイオフィルムが高病原化する現象のことです。
- ②う蝕の発生：食事の度に発酵性糖質（ショ糖、果糖、ブドウ糖、乳糖、デンプン）が口腔内に入り、それを摂取したう蝕原菌は活性化し、酸を排泄し、バイオフィルムは酸性に傾きます。これがう蝕のdysbiosisです。
- ③歯周病の発生：バイオフィルム細菌の栄養共生などによる歯周病関連細菌種のdysbiosisが原因です。特に、血液中の栄養分はバイオフィルムの病原性を大幅に高めるため、歯周ポケットからの出血は主病因です。
- ④う蝕と歯周病の治療法：バイオフィルムに供給される栄養を絶つことによりdysbiosisは解消され、病因は除去されます。その詳細をお話させていただきます。
- ⑤バイオフィルムの病原性を見分ける術：患者一人ひとりに合わせた口腔管理。
- ⑥治すSRP：ポジショニング、根面探知、そしてあまの式SRP etc. 伸び盛りのDHさんは必聴。

■日時 令和6年 2月18日(日)

学術講演会 9:00～12:30

総括 12:30～13:00

■会場 ホテルニューオータニ大阪
2F 鳳凰の間

大阪市中央区城見 1-4-1 TEL：06-6941-1111

■受講料 会員無料 / 非会員 7,000 円 (招待者無料)

お申込・お問い合わせ先 (公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 TEL：072-223-8776 FAX：072-222-8447(担当) 村田

(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 2023年度 学術講演会 申込書

FAX：072-222-8447

氏名：	勤務先：	
住所：		
TEL：	FAX：	e-mail：